

發行兼編輯人 川崎文治

常駐每日新聞社

常新新聞

刊夕日一十三月三

印刷所 本報印刷部

牛 晝食は牛

屋 夕食は鳥

石川亭

番三四シモシモ

店員募集

でま才七十りよ才四十

眞面目な御人を養成仕るべく
萬事家族的の待遇に候へば御
希望の向きに依り

御本人の 給料、積立、
付さ御面談申上度く是非
御申込み願上候

尙ほ目下在學中に候へし場合は
雇入方を豫約致し置くも差支へ
無之候

平町鍛冶町(電話二二二番)

吉田屋呉服店
吉田由三郎

醬油と味噌

福島縣平町 鹽屋山崎本店

電話長一七五番
振替東京一九七五番

上野東車坂町四三

東京支店

電話長淺草五七二八番
振替東京六八三二二番

常 論 壇

議會を顧みて

政界通人

第五十議會は實に波瀾重疊たる議會であつた總豫算に於ける小波瀾は別として議院法改正法律案及び衆議院選舉法改正法律案に於て二つの協議會が開會せられ前者は貴族院修正案通り決定したのであるが後者は非常なる論議の後衆議院案は其の根本精神を損することなくして遂に其成立を見たのである反對黨方面に於ては政府の本問題に就き執れる方針に就いて兎角の非難を試むるものもある様である

が事は實に普選といふ重大問題に關聯して居るのである維新の改革以來の政治的大革新と見るべきものである以上其の間に於てかくの如きことの起るのは寧ろ當然と云はねばならぬ、普選と云へば廿數年來唱道され來れる大問題であつて近く大正九年には之れが爲めに議會解散をすら敢てせられたのである、然るに現開によりて解決せられたと云ふことは現開の比類なき一大成功と云はねばならぬ行政財政整理は日露戰爭以來の懸案であつて何れの内閣に於てもこれを成し遂げ得るものはなかつたのであるが

全 染色保儉

染物ト刺子

和屋染物店

平白銀町 田邊機械店

番七六二話電

大音堂

美術諸看板
簡字金銀文字
建築本字
各種
迅速

消防被服、手拭 專染所
風呂敷、印半天
小店員募集
平町五丁目
吉田屋染工場
電話 五五八番

齒科

平町土橋通り

原齒科醫院

電話卅一番

家具店棚

製造販賣店

鈴木勝弥商店

平町砥町

格安もの豊富に
取揃へて
あります

青沼醫院

平町城山(舊城跡)三の丸

内兒科
小兒科
皮膚科
花柳病科

醫學士 青沼淡夫
電話四〇三番

